

夏休みの  
思い出になるね

スクリーンで  
会いましょう

昔の映画も  
面白いよ!

スクリーンで観ると  
迫力あるね!

フルートとギターの  
生演奏!

僕たちが  
活躍するよ!

2020年の夏休み★

# こども映画館

KIDS★CINEMA

映画の上映とお話

7月31日[金] | 8月1日[土] | 7日[金] | 8日[土] 13時30分スタート!  
(13時開場)

国立映画アーカイブ 小ホール(地下1階)

料金(当日お支払い)

中学生以下	無料
一般	520円
高校・大学生・シニア(65歳以上)	310円

申込  
方法

参加は事前申込制です

[申込フォームのみ]

7月8日[水] 16時より受付開始

国立映画アーカイブホームページ内のこども映画館申込フォームよりお申込ください。受付票の送付をもって受付完了となります。各回、定員(50名)に達し次第しめきります。

[nfaj.go.jp/learn/kids/](http://nfaj.go.jp/learn/kids/)

内容に関してのお問い合わせ: 電話番号03-3561-0823

参加をご希望の皆さまへのお願い

- ★子ども(中学生以下)の引率・付添ではない高校生以上の方のお申込はお断りしています。
- ★館内ではマスク着用と咳エチケットにご協力ください。お申込前に、こども映画館ホームページにて、「ご来館にあたってのお願い」をご確認ください。
- ★新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、定員50名(座席数151)、お座席は左右並びの2~4人1組、前後左右を空席とし、入場時にお選びいただけます。
- ★観覧券の発券・入場は、開映の30分前から、受付票の受付番号順に行います。受付票の提示がない場合はご入場いただけませんのでご注意ください。高校生・大学生・シニア(65歳以上)の方は、当日必ず証明できるものをご提示ください。障害者(付添者は原則1名まで)は無料です。証明できるものをご提示ください。
- ★お申込の際にいただきます個人情報、「こども映画館」に関するご案内の目的のみに利用することとし、第三者への提供は行いません。
- ★ご希望の方は、終了後に展示室を無料でご覧いただけます。

# みんなで一緒に、大きなスクリーンで映画を観よう!!

**7月31日** 金  
13:30-15:00



『わんわん忠臣蔵』の東映

## アニメーションの豊かな表現

「うんと面白い映画を作ろう」を合言葉に、「日本のディズニー」東映動画が放った、元気いっぱいの楽しい動物アニメーション。

『わんわん忠臣蔵』(1963年)  
日本/監督:白川大作/81分/カラー  
虎のキラーと狐にお母さんを殺された子犬のロックの仇討ち。原画18000枚、動画70000枚で丁寧に描かれた流麗な動きと音楽、雪降る夜の戦いを堪能しよう!



**8月1日** 土  
13:30-15:00



『ごんぎつね』

## こころが育つ物語がいっぱい!

読み聞かせもあるよ!

童話雑誌「赤い鳥」に掲載された作品がアニメーション化。テレビ「赤い鳥のころ」日本名作童話シリーズから三本立て!

赤い鳥のころ 日本名作童話シリーズ25  
『ごんぎつね』(1979年)

日本/監督:出崎哲/24分/カラー

赤い鳥のころ 日本名作童話シリーズ1  
『天までとどけ』(1979年)

日本/監督:梶島義夫/24分/カラー

赤い鳥のころ 日本名作童話シリーズ19  
『走れメロス』(1979年)

日本/監督:吉田しげつぐ/24分/カラー

『ごんぎつね』は、いたずら好きだけど、やさしいぎつねの物語。「お父さんは、きっと帰ってくる!」「天までとどけ」。人を信じる大切さを教えてくれる『走れメロス』の映画をみんなで見よう!

協力:衛プロダクション・エース

**8月7日** 金  
13:30-15:00



『月世界旅行』



『ジゴマ』

## 活弁と生演奏で楽しむ、摩訶不思議な映像世界

月への大冒険に、食いしん坊がみた月への大冒険に、食いしん坊がみた風変わりな夢、大怪盗の犯罪活劇……100年以上前につくられた無声映画にも、ワクワクする奇想天外な映像がいっぱい。活弁と生演奏に乗せて、夢と怪奇の映画の旅に出発!

『月世界旅行』(1902年)

フランス/監督:ジョルジュ・メリエス/12分

『チーズトースト狂の夢』

(1906年)アメリカ/監督:エドウィン・S・ポーター、ウォレス・マッカッチョン/8分

『ジゴマ』(1911年)

フランス/監督:ヴィクトラン・ジャッセ/44分

**8月8日** 土  
13:30-15:00



『大人の見る繪本 生れてはみたけれど』

## 活弁と生演奏で楽しむ、80年以上前の東京で暮らす少年たち

『東京物語』(1953年)で世界中の映画人から尊敬される、小津安二郎監督が20代後半で作った、子どもと大人の世界を独自のユーモアを交えて描いた物語。

『大人の見る繪本 生れてはみたけれど』[英語字幕付]

(1932年)日本/監督:小津安二郎/90分

小学生の兄弟が、父母と郊外に引っ越してきます。近所の男の子たちとけんかや仲直りを繰り返す毎日のはじまりですが、ある日、友だちの大きな家に行くことになり、立派に見えませんが……

※不完全なプリントが含まれていることがあります。  
※映画の上映の順序は変更になることがあります。  
※各プログラムの終了時刻は目安です。

## 8月7日、8日は活弁・演奏付きで映画が観られるよ



### 坂本頼光

中学時代より活動写真弁士を志し、2000年にデビュー。海外映画祭など様々な場に出演し、国立演芸場・花形演芸大賞をH28年度銀賞、H30年度金賞受賞。周防正行監督の「カッペン!」で出演・弁士指導も行った。



### 湯浅ジョウイチ (作曲・編曲、ギター)

1987年、東京国際映画祭でD・W・グリフィスの「国民の創生」の楽士を担当後、無声映画用音楽の復元や作・編曲等を行い、和洋楽団カロード・モノトーンを結成。作・編曲・指揮の他、ギターや三味線も演奏する。



### 鈴木真紀子 (フルート)

桐朋学園大学卒。フルートを峰岸壮一氏に師事。和洋楽団カロード・モノトーンの主要メンバー、芹洋子のアコースティックバンドメンバーとして活動。東洋英和女学院、順天堂大学交響楽団でフルート指導にあたる。



## 保護者・指導教員・引率者の皆様へ

「こども映画館」は、中学生以下を対象とした国立映画アーカイブのイベントで、夏休みの期間に開催します。「こども映画館」は次のような目的で企画されています。

- ★映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらう。
  - ★テレビ等の家庭内視聴では得られない、大きなスクリーンによる本物の映画(フィルム)を楽しむ機会を提供する。
  - ★優れた映画作品の鑑賞を通して、豊かな情操と高い映像理解能力(リテラシー)を育む。
- 映画館に集まり、みんなが暗闇のなかで集中して大きなスクリーンを見つめ、泣き、笑い、緊張し、興奮し、感動する——かつてはごく当たり前であった、こうした映画の原風景の素晴らしさを、今日のこどもたちにも味わってほしいと思います。きっと良い思い出になることでしょう。

活弁とは?

無声映画の時代に日本の映画館で行われていた、弁士による映画説明のことです。当時はそれぞれの劇場が弁士を雇い、その評判によって劇場の人気が左右されるほど大切な役割を担っていました。



## 国立映画アーカイブ

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

交通: ●東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分

●都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分

●東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分

●JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル050-5541-8600

NFAJホームページ: www.nfaj.go.jp

長瀬映像文化財団

国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。